



オンライン診断の設定

この章では、Catalyst 3750 スイッチでオンライン診断を設定する方法について説明します。

(注)

この章で使用するコマンドの構文および使用方法の詳細については、このリリースのスイッチ コマンドリファレンスを参照してください。

- 「オンライン診断の機能概要」(P.50-1)
- 「オンライン診断テストの実行」(P.50-3)

オンライン診断の機能概要

オンライン診断では、動作中のネットワークにスイッチが接続されている間に、スイッチのハードウェ ア機能についてテストし、確認することができます。

オンライン診断には、異なるハードウェア コンポーネントをチェックするパケット交換テストが含ま れ、データパスおよび制御信号が確認されます。

オンライン診断では、次の領域の問題が検出されます。

- ハードウェア コンポーネント
- インターフェイス (イーサネット ポートなど)
- はんだ付けの結合部

オンライン診断は、オンデマンド診断、スケジュール診断、ヘルスモニタリング診断に分類できます。 オンデマンド診断は、CLIから実行されます。スケジュール診断は、動作中のネットワークにスイッチ が接続されているときに、ユーザが指定した間隔または指定した時刻に実行されます。ヘルスモニタリ ング診断は、バックグラウンドで実行されます。

オンライン診断のスケジューリング

ユーザは、指定時刻、毎日、毎週、または毎月、特定のスイッチに対してオンライン診断をスケジュー リングすることができます。スケジューリングを削除するには、このコマンドの no 形式を使用しま す。

次のように、グローバル コンフィギュレーション モードで、このコマンドを使用してオンライン診断 をスケジューリングします。

コマンド	目的
diagnostic schedule switch <i>num</i> test { <i>test_id</i> <i>test_id_range</i>	オンデマンド診断テストに対し、日時、テストの実行回数
all basic non-disruptive } { daily <i>hh:mm</i> on <i>mm dd yyyy</i>	(繰り返し)、エラー発生時に行われる処理を、スケジューリ
<i>hh:mm</i> } weekly <i>day_of_week hh:mm</i> }	ングします。

次の例では、特定のスイッチに対して特定の日時に診断テストをスケジューリングする方法を示しま す。

Switch(config)# diagnostic schedule switch 1 test 1,2,4-6 on january 3 2006 23:32

次の例では、特定のスイッチに対し、毎週特定の時間に診断テストを行うようスケジューリングする方 法を示します。

Switch(config)# diagnostic schedule switch 1 test 1,2,4-6 weekly friday 09:23

ヘルス モニタリング診断の設定

スイッチが動作中のネットワークに接続されている間に、指定されたスイッチに対するヘルスモニタリ ング診断を設定できます。ユーザは、ヘルスモニタリングテストの実行間隔、テストに失敗した場合に システム メッセージが生成されるかどうか、または、個々のテストをイネーブルまたはディセーブル にするかを、設定できます。テストをディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を入力します。

次のように、グローバル コンフィギュレーション モードで、これらのコマンドを使用してヘルスモニ タリング診断をスケジューリングします。

コマンド	目的
diagnostic monitor interval switch <i>num</i> test { <i>test_id</i> <i>test_id_range</i> all } <i>hour:mm:ss milliseconds day</i>	指定したスイッチに対して指定したテストのヘルス モニタリン グの間隔を設定します。モニタリングは、デフォルトではディ セーブルに設定されています。
diagnostic monitor syslog	ヘルスモニタリング テストに失敗した場合、Syslog メッセージ を生成します。Syslog は、デフォルトではディセーブルに設定 されています。
diagnostic monitor threshold switch <i>num</i> test { <i>test_id</i> <i>test_id_range</i> all } failure count	モニタリング テストの障害しきい値を設定します。モニタリン グは、デフォルトではディセーブルに設定されています。

間隔をデフォルト値またはゼロに変更するには、no diagnostic monitor interval switch {num} test {test-id | test-id-range | all} グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。ヘルスモニタ リング テストに失敗した場合、no diagnostic monitor syslog コマンドを使用して、Syslog メッセージ の生成をディセーブルに設定します。diagnostic monitor threshold switch num test {test_id | test_id_range | all } failure count コマンドを使用して、障害しきい値を削除します。

次の例では、2分ごとに指定したテストを行うように設定する方法を示します。

Switch(config)# diagnostic monitor interval switch 1 test 1 00:02:00 0 1

次の例では、スイッチ上でテストモニタリング用の障害しきい値を設定する方法を示します。

Switch(config) # diagnostic monitor threshold switch 1 test 1 failure count 50

次に、ヘルス モニタリング テストが失敗したときに Syslog メッセージを生成する例を示します。 Switch(config)# diagnostic monitor syslog

オンライン診断テストの実行

オンライン診断の設定後、診断テストを開始するか、または、テスト結果を表示することができます。 各スイッチに対して設定されているテスト、および、すでに実行された診断テストを、参照することが できます。

ここでは、オンライン診断テストを設定した後に実行する例を示します。

- 「オンライン診断テストの開始」(P.50-3)
- 「オンライン診断テストとテスト結果の表示」(P.50-4)

オンライン診断テストの開始

スイッチ上または個々のスイッチで実行する診断テストの設定後、start を使用して診断テストを開始 できます。

次のように、グローバル コンフィギュレーション モードで、このコマンドを使用してオンライン診断 テストを開始します。

コマンド	目的
diagnostic start switch num test {test-id test-id-range all	特定のスイッチで診断テストを開始します。
basic non-disruptive}	

次の例では、特定のスイッチで診断テストを実行する方法を示します。

Switch# diagnostic start switch 1 test 1
<pre>Switch# 06:27:50: %DIAG-6-TEST_RUNNING: Switch 1 Running TestPortAsicStackPortLoopback{ID=1} (switch-1)</pre>
06:27:51: %DIAG-6-TEST_OK: Switch 1 TestPortAsicStackPortLoopback{ID=1} has completed successfully (switch-1) Switch#
次に、正常なシステム動作が阻害されているスイッチ上で診断テスト2を開始する方法と、これによって、スイッチからスタックへの接続が失われ、リロードが実行される例を示します。
Switch# diagnostic start switch 1 test 2 Switch 1: Running test(s) 2 will cause the switch under test to reload after completion of the test list.
Switch 1: Running test(s) 2 may disrupt normal system operation Do you want to continue?[no]: y
Switch#
16:43:29: %STACKMGR-4-STACK_LINK_CHANGE: Stack Port 2 Switch 2 has changed to state DOWN
16:43:30: %STACKMGR-4-STACK LINK CHANGE: Stack Port 1 Switch 9 has changed to state DOWN

16:43:30: %STACKMGR-4-SWITCH REMOVED: Switch 1 has been REMOVED from the stack Switch# 16:44:35: %STACKMGR-4-STACK LINK CHANGE: Stack Port 1 Switch 2 has changed to state UP 16:44:37: %STACKMGR-4-STACK LINK CHANGE: Stack Port 2 Switch 2 has changed to state UP 16:44:45: %STACKMGR-4-SWITCH ADDED: Switch 1 has been ADDED to the stack 16:45:00: %STACKMGR-5-SWITCH READY: Switch 1 is READY 16:45:00: %STACKMGR-4-STACK_LINK_CHANGE: Stack Port 1 Switch 1 has changed to state UP 16:45:00: %STACKMGR-4-STACK_LINK_CHANGE: Stack Port 2 Switch 1 has changed to state UP 00:00:20: %STACKMGR-4-SWITCH ADDED: Switch 1 has been ADDED to the stack (Switch-1) 00:00:20: %STACKMGR-4-SWITCH ADDED: Switch 2 has been ADDED to the stack (Switch-1) 00:00:25: %SPANTREE-5-EXTENDED SYSID: Extended SysId enabled for type vlan (Switch-1) 00:00:29: %SYS-5-CONFIG I: Configured from memory by console (Switch-1) 00:00:29: %STACKMGR-5-SWITCH READY: Switch 2 is READY (Switch-1) 00:00:29: %STACKMGR-5-MASTER READY: Master Switch 2 is READY (Switch-1) 00:00:30: %STACKMGR-5-SWITCH READY: Switch 1 is READY (Switch-1) 00:00:30: %DIAG-6-TEST RUNNING: Switch 1: Running TestPortAsicLoopback{ID=2} ... (Switch-1) 00:00:30: %DIAG-6-TEST OK: Switch 1: TestPortAsicLoopback{ID=2} has completed successfully (Switch-1)

テストによって、スタックがパーティション化された場合、このメッセージを参照できます。

Switch 6: Running test(s) 2 will cause the switch under test to reload after completion of the test list. Switch 6: Running test(s) 2 will partition stack Switch 6: Running test(s) 2 may disrupt normal system operation Do you want to continue?[no]:

オンライン診断テストとテスト結果の表示

show コマンドを使用すると、特定のスイッチに対して設定されたオンライン診断テストを表示し、テ ストの結果をチェックすることができます。

あるスイッチに対して設定されている診断テストとテスト結果を表示するには、特権 EXEC コマンド を使用します。

表 50-1 show diagnostic コマンド

コマンド	目的
show diagnostic content switch [num all]	スイッチに対して設定されているオンライン診断を表示しま す。
show diagnostic status	スイッチでテストが実行中かどうかを表示します。
show diagnostic result switch [num all] detail	オンライン診断テスト結果を表示します。
<pre>show diagnostic result switch [num all] test [test_id test_id_range all] [detail]</pre>	
show diagnostic schedule switch [num all]	オンライン診断テスト スケジュールを表示します。
show diagnostic post	POST の結果を表示します (show post コマンドと同じ)。

次の例では、スイッチに設定されているオンライン診断を表示する方法を示します。

```
Switch# show diagnostic contentswitch 3
Switch 3:
Diagnostics test suite attributes:
    B/* - Basic ondemand test / NA
    P/V/* - Per port test / Per device test / NA
    D/N/* - Disruptive test / Non-disruptive test / NA
```

S/* - Only applicable to standby unit / NA $\rm X/\star$ - Not a health monitoring test / NA F/* - Fixed monitoring interval test / NA E/* - Always enabled monitoring test / NA A/I - Monitoring is active / Monitoring is inactive R/* - Switch will reload after test list completion / NA $\ensuremath{\text{P/*}}$ - will partition stack / NA Test Interval Thre-ТD Test Name attributes day hh:mm:ss.ms shold ____ ______ B*N****A** 000 00:01:00.00 n/a 1) TestPortAsicStackPortLoopback B*D*X**IR* not configured n/a TestPortAsicLoopback 2) B*D*X**IR* not configured n/a 3) TestPortAsicCam B*D*X**IR* not configured n/a 4) TestPortAsicRingLoopback 5) TestMicRingLoopback B*D*X**IR* not configured n/a B*D*X**IR* not configured n/a 6) TestPortAsicMem

次の例では、スイッチのオンライン診断結果を表示する方法を示します。

```
Switch# show diagnostic resultswitch 1
Switch 1: SerialNo :
Overall diagnostic result: PASS
Test results: (. = Pass, F = Fail, U = Untested)
1) TestPortAsicStackPortLoopback ----> .
2) TestPortAsicLoopback ----> .
3) TestPortAsicCam -----> .
4) TestPortAsicRingLoopback -----> .
5) TestMicRingLoopback ----> .
6) TestPortAsicMem -----> .
```

次の例では、オンライン診断テストのステータスを表示する方法を示します。

Switch# show diagnostic status

```
<BU> - Bootup Diagnostics, <HM> - Health Monitoring Diagnostics,
<OD> - OnDemand Diagnostics, <SCH> - Scheduled Diagnostics
```

Card	Description	Current Running Test	Run by
1		N/A	N/A
2		TestPortAsicStackPortLoopback	<0D>
		TestPortAsicLoopback	<od></od>
		TestPortAsicCam	<od></od>
		TestPortAsicRingLoopback	<0D>
		TestMicRingLoopback	<od></od>
		TestPortAsicMem	<od></od>
3		N/A	N/A
4		N/A	N/A
	====		

Switch#

次の例では、スイッチのオンライン診断のテストスケジュールを表示する方法を示します。

Switch# show diagnostic scheduleswitch 1
Current Time = 14:39:49 PST Tue Jul 5 2005
Diagnostic for Switch 1:
Schedule #1:
To be run daily 12:00
Test ID(s) to be executed: 1.